

一人一人の取り組みが大切です

# みんなの力でごみの減量化を

ごみの減量化に関しては、発生抑制・再利用・再生利用を意味する言葉「3R」が有名です。そこで大切なことは、普段からの「ちょっとした」の心掛け。市の補助制度なども活用し、みんなでごみを減らしましょう。

環境保全のために私たちが身近に取り組むことができることのひとつが、「ごみの減量化」です。

ごみは日常生活の中で出るもの。「自分が出すごみは少ないから関係ない」というのではなく、一人一人が「もうちょっと減らそう」「こうしたら減るかも」「捨てたらもった

いないなあ」と思って取り組むことがとても大切です。

## ■3R実践でごみを減らそう

ごみを減らすためには、リデュース(発生抑制)、リユース(再利用)、リサイクル(再生利用)の、「3R」(Rはそれぞれの英単語の頭文字)の実践が強く求められています。リデュース：ごみを減らす努力をすること。ごみになるものはできるだけ買わないこと。リユース：ものを繰り返し使ったり、繰り返し使えるものを購入したりすること。リサイクル：何らかの加工を行い、再利用すること。

## ■市のごみ減量化の取り組み

市では、ごみの減量化やリサイクル推進に、次の補助制度などを実施していますので、ぜひ活用してください。



松山清掃工場のごみピット(操作室から撮影)。ごみ収集車両だけでなく、連日多くの一般車両がごみ搬入に訪れる

## 「処理に年間2億円以上…」ごみ排出量と減量目標

平成26年度中に松山清掃工場へ持ち込まれたごみの総量は1万280tでした。これは、市民1人あたりに換算すると1日に724gのごみを出していることとなります(=下表)。

ごみ処理費(し尿を除く)には、年間2億円以上の予算が使われ、1人当たり換算で5,847円となります。目標として「1人1日100gのごみ減量化」を達成すると、1日で3.9t、年間で1,424tの減量になり、約900万円の経費が軽減されることとなります。

	平成16年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
ごみの総量	10,547 t	10,613 t	10,520 t	10,280 t
可燃	7,265 t	7,792 t	7,674 t	7,528 t
不燃	2,173 t	2,042 t	2,079 t	1,976 t
粗大・資源・その他	1,109 t	779 t	767 t	776 t
1人1日排出量	681 g	732 g	733 g	724 g
匝瑳市の人口	42,418人	39,745人	39,322人	38,857人

(一般廃棄物処理実態調査より)

## ■「100gのごみ」ってどのくらい? 100g分のごみの目安

たまご…2個 パナナの皮…2本 きゅうり…1本  
レジ袋…20枚 割り箸…20組 牛乳パック(1ℓ)…2個  
※食べ残しを減らすことで、生ごみになる量も減らせます。

▼家庭用生ごみ処理機など購入補助金  
家庭用生ごみ処理機や生ごみ堆肥化容器(コンポスト)を購入した際の費用の一部補助を行っています。

▼資源ごみ集団回収促進事業奨励金  
古紙や空き缶などの資源物を自主的に回収して業者に引

き渡すリサイクル活動を行った団体に対して、回収量に応じた奨励金を支給しています。

▼リサイクル情報コーナー  
不用品などを有効利用するため、市役所ロビーに情報コーナーを設置して、「譲りたい人」「譲ってほしい人」の仲介を行っています(現品の保管・展示は行っていません)。

▼マイバック運動  
スーパーなどでの買い物時にレジ袋をもらおうのではなく、持参したエコバックなどを使うようにする環境保護運動です。

## 事業所からのごみは適正に処理を

事業所から出される「事業系ごみ」は、匝瑳市ほか二町環境衛生組合では収集しません。また、家庭ごみのごみステーションにも出すことはできません(「不法投棄」に該当します)。

事業系ごみは、その種類に応じて、自ら処理施設へ搬入するか、一般廃棄物(または産業廃棄物)の収集・運搬許可業者に委託して、事業者(個人事業者含む)自ら適正に処理してください(一つの建物で事業所と住居が併用されている場合は、それぞれから出されるごみを区分して適正に処理してください)。

《事業系ごみとは》事業活動に伴い排出される廃棄物を「事業系廃棄物」といいます。「事業活動」とは、飲食店や事務所、工場などの営利目的の事業に限らず、病院や社会施設など公共サービスを行う事業も含まれます。さらに、事業系廃棄物は「事業系一般廃棄物」と「産業廃棄物」に分類されます。

※このページに関する問い合わせは環境生活課環境班 ☎73-0088へ



## 一年のスタートに汗を流す

### 健康祈願し歩き初め

野栄ウォーキングサークルの新春恒例「歩き初め」が1月3日、野栄ふれあい公園で行われました。

今年は、一年の健康と親睦を目的に「ウォーク」と「オリンピック」をかけた「ウォーリンピック大会」を初開催。両眼を閉じて片足立ち姿勢を維持する「ダブルウイंक案山子<sup>かかし</sup>」や遠くまで羽根を飛ばす「バドミントン羽根飛ばし」、後ろ向きに歩く「バックウォーク」など全6種目のユニーク競技が行われ、参加者たちは一年のスタートに心地よい汗を流しました。



後ろ向きに歩く「バックウォーク」



一斉にスタートするランナー(男子小学6年)

のさかふれあいスポーツランドを発着とする1周0.56kmから3.66kmのコースで1月17日、第10回匝瑳市健康マラソン大会が開催されました。誰もが気軽に楽しく参加できるスポーツとして、毎年実施されているもので、市制施行10周年記念を冠した今大会は、全23部門に市内外から過去最多773人のランナーが参加。ランナーは日ごろ鍛えた健脚を競い合いました。

### 匝瑳市健康マラソン大会

過去最多773人が参加

## 新春の日本文化を体験

### 国際交流新春パーティー

市民ふれあいセンターで1月17日、国際交流新春パーティーが開かれ、7か国約100人が参加しました。市国際交流協会の主催で毎年行われているもので、当日は参加者各国の料理が振る舞われ、アトラクションや料理を通じて交流を深めました。

開会式では同協会・鈴木英人会長が「お互いの文化を通じて、匝瑳市が地域色豊かになるよう交流を深めてほしい」とあいさつ。その後、アメリカ代表とタイ代表それぞれの「お国自慢」、餅つき体験や楽天舞によるよさこいソーラン、九十九里ホームのアイドルユニット「つくも99スペシャル」の歌が披露されました。



餅つきを体験する参加者

## 仁組の獅子舞



一年の健康を願って

栄地区栢田で1月8日、仁組獅子舞が行われました。

獅子が集落内の各戸を回って疫病や災いを噛み砕き、五穀豊穡・無病息災を祈願するもので、家上がった獅子は囃子<sup>はやし</sup>に合わせ華麗な舞を披露。訪問を受けた家庭の人たちは、獅子に体を噛む仕草をもらい、今年一年の健康を願いました。

## 稲荷神社の綱かけ神事



結い上げられる大注連縄

匝瑳地区山桑の稲荷神社で1月3日、綱かけ神事が行われました。これは、秋に収穫した稲わらを使い、長さ約8mの大蛇をかたどった大注連縄を結い上げるものです。

息を合わせて結い上げられた大注連縄は、市指定有形文化財の幕とともに神社正面につるされ、家内安全・無病息災が祈願されました。